



くらしの情報

第18回 消費者まつり開催

考えよう！大人になるとできること、気をつけること
～18歳から大人に～

令和4年5月28日（土）に徳島市のときわプラザで、徳島県と協会の主催による「2022 消費者まつり」を開催しました。



今年度は令和4年4月1日に成年年齢が引下げられたことから、「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18歳から大人に～」をテーマに、学生さんも含めた多くの方々にご参加頂きました。

第1部では、最初に表彰式が行われ、消費者支援功労者表彰ベスト消費者サポーター章に選ばれた新見千津子さんに、書状が授与されました。また、とくしまエシカルアワードに「有限会社ウトワーク」が、徳島県消費者志向経営推進事業者「喜多機械産業株式会社」が、くらしのサポーター活動功労者として矢部邦昭さん、志摩裕子さんの2名が、消費生活コーディネーター活動功労者として阿部千明さんがそれぞれ受賞され、表彰状が授与されました。

続いて、消費者教育の推進及び消費者市民社会の概念の普及に関する活動を担う「消費者教育推進大使」として、消費者庁から、徳島県のマスコットキャラクター「すだちくん」が委嘱を受けました。

そのあとの消費者宣言では、川島町消費者協会が、食品ロス対策やエシカル消費について、「エシカル消費について



身近なSDGsの取り組みについて～現状を知ろう～」と題した活動発表をし、若者の代表としては、那賀高等学校から、不要



になった衣服を再活用する学校の取り組みについての「世界へ・未来へ・つなげようエシカル消費～那賀から広がるサステイナブルファッション～」と題した発表が行われました。

第2部では、e-とくしま推進財団シニアアドバイザーの籾内祥司氏による「ネット犯罪被害に遭わないために～知っていますか？成年年齢の引下げ～」と題した講演が行われ、消費生活の中で、「インターネットを安全に利用する方法」や、「成年年齢の引下げにより変わったこと」等について学びました。

また、今年度は3年ぶりに、各消費者協会等による、地域の特産品や手作りの品の展示と販売会が行われ、参加者の交流を深めることができました。県内の高校、大学などからの出展もあり、各ブースとも工夫をこらした内容で、多くの来場者で賑わいました。



この消費者まつりへの参加を、「だまされない消費者」「自分で考える消費者」になるために、若者と大人がともに考え、実践につなげるきっかけとし、「安全安心な生活ができる社会」の実現のため、これからも消費者問題の解決や消費者教育の推進に取り組んでいきたいと思います。

発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL (088) 625-8285(代) FAX (088) 625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp



東 部 地 区

石井町

令和4年5月18日、石井町消費者協会総会を3年ぶりに開催し、会員の方々の前で議事報告等が出来た事に一安心した。28日、消費者まつりには、野菜販売、手作りした畳縁バックの展示で参加した。コロナ禍の中でも感染防止対策を十分にとりながら、活動を少しでも再開しようと早速、6月18日、美馬市周遊ツアーを利用し、藍染め体験をした。藍染めの説明を受け、藍の香りの中、期待にワクワクしながら、一生懸命取り組み、出来上がった作品を見せ合い、満足感で久しぶりに皆が笑顔になった。



(佐藤 安代)

南 部 地 区

阿南市

「令和4年度総会」の後、「フレイル予防」の運動を教わる。6月10日、阿南ひまわり会館で文理大学教授・鷲春夫先生を迎え、「元気で長生きをするための講演」を開催した。

高齢化に伴いフレイル(虚弱)が徐々に進み、健康寿命が保たれなくなるのを仕方ないことと思わず、予防することが大切である。今からでもいつからでも筋力をつけることができる。2つの運動を続けてみよう。その1、開眼片足立ちは、片足1分ずつ1日3回。最初はぐらぐらしていてもできるようになり、立ったままで下着が付けられるようになる。その2、イスを使ったスクワットは4



片足立ち



みんなでスクワット

秒で座り、4秒で立つ運動を10回繰り返し、徐々に増やす。太ももに筋肉がつき、坂道を上ると効果がわかる。家でできる運動なので、真夏でもできる。続けることができたなら人生変わってくる、と教わった。

(長久 生實)

美波町

令和4年6月16日、美波町消費者協会総会が開催された。新型コロナウイルスの影響で、昨年の総会は中止になり、その他予定していた事業の多くが中止になった。規模を縮小しての開催となったため、以前総会と同じ日に行っていた、講師を招いての研修会は行うことができなかったが、久しぶりに顔を合わせて集まる機会ができたことは良かった。昨今の状況では、多くの人が集まる事は難しいが、その中でも人との関わりをもつこと、情報共有することが、より良い消費生活に繋がると感じているため、できる範囲で活動できればと思う。



(中林可奈子)

牟岐町

身近な物が生まれ変わる →SDGsに継げよう！この古い布は何かに使える。捨てるのはもったいない。家にある古い着物や服に手を加え別の物に生まれ変わらせる再生、リサイクルの活動は、ひろがっている。私達は周りにある布を材料にして「布絵」を作っている。布を切ったり、貼ったり、重ねたり、継



ぎ合わせたりして絵にする。身近な風景、野菜、草花、魚、果物等に布を甦らせ、利用する。環境にもお財布にもやさしく楽しさが生まれる。皆でアイデアを出し合い、物を大切に作る心を持ち、作ることの達成感を味わえる。

この活動を通して、まわりの人達と環境問題だけでなく、SDGs達成のため、自分達に何ができるか考えてみる。

きっかけになることを願っている。(日高 琴美)

那賀町

那賀町消費者協会では、2022年第18回消費者まつりに参加し、特産品等販売ブースにおいて「はんごろし」を完売することができた。



啓発展ブースでは、地元的那賀高校生が「エシカル消費」として、古着の無料販売を行っていた。

若い人たちが、エシカル消費に真剣に取り組んでいる姿はとても好ましく、将来において持続可能な社会の実現に向けて一役を担うことへの期待感が高まる。

私たち大人も見習わなければならない点多々あり、支援できることがあれば応援してゆきたい。(連記かよ子)

西部地区

川島町

川島町消費者協会は、令和4年4月13日東児島公民館で総会を開催した。総会の後、持続可能な開発目標(SDGs→2021年～2030年迄17の目標)について研修をした。令和4年度消費者月間テーマは「考えよう！大人になるとできること、気をつけること～18歳から大人に～」。

令和4年度の計画として、会員募集・各種研修会の参加・振り込め詐欺防止キャンペーン・食品ロス削減キャンペーン・缶詰を備蓄・震災を考えるなどを話し合った。



SDGsの川島町の取り組みとして、目標12つくる責任つかう責任を学ぶため、秋にゼロウェイストに研修に行くことが決まり、総会も無事終わった。(大久保光江)

北部地区

上板町

新型コロナウイルス発生から3年目になるが、アルミ缶回収はその間休む事なく、会員さんの協力ですっと続けている。令和4年4月22日に、町内の保育所・幼稚園・小中学校をはじめ、老人福祉センター・文化センターなど25ヶ所の公共施設に、トイレトーパー合計105箱(10,080ロール)を配付した。毎年春期に各公共施設へ環境にやさしい商品を配布することで、環境に関する意識の啓発を図っている。その他にも、年2回断捨離プロジェクト陶器編を町民に呼びかけた。その時の収益で、各学校へ生理用品を送った。これからは会員一同、頑張っ



ボランティア活動を続けていく。(上原千賀子)

阿波市

5月28日アスティとくしまで、消費者まつりが行なわれた。指示どおり入場し、宝石の玉の様に光り輝くミニトマトを並べて第1部の開会を待った。ところが事前の案内と異なり、1人のみの出席となり発表が聴けなかったのは残念であった。各地区からの特産品が並び、販売ブースは盛り上がっていた。しかし個室になっている為、客が無く売れ行きはボツボツ低調。途中知事さんが、励ましに来て下さり記念写真をパチリ！！元気をもらってひと踏ん張り、持ち



歩いて売る事に。最終はお隣どうし売って買って完売。ホッと第2部の講演会場へ。ネット犯罪に遭わないためにというお話を、「明日は我が身におこるやも」という気持ちで熱心に聴き、まつりの一日は終了した。(加藤ハルコ)



徳島文理大学理工学部機械創造工学科 三好 真千
講師

最近、「カーボンニュートラル」や「脱炭素」という言葉がよく聞かれるようになりました。2020年10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを宣言しました。これは地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量を減らし、吸収量を増やそうとする取り組みです。国内にて脱炭素先行地域を創出し、徐々にその地域を広げていく計画です。徳島県においても徳島県版脱炭素ロードマップを作成しており、自然エネルギーの最大限導入、水素グリッド構想の推進、循環経済への移行が重点施策として挙げられています。

太陽光、太陽熱、風力、地熱、バイオマス、水力、潮流など再生可能エネルギーを活かした発電方式が今後はさらに導入が進み、私たちの生活にも反映されることでしょう。

世界的に環境への意識が変化しつつあるなかで、私たちの生活においてカーボンニュートラルに向けた取り組みには次のようなものがあります。

- ・食品ロスをなくす
- ・節水、節電をする

- ・ごみの分別、リサイクルをする
 - ・今持っている持ち物を長く使う
 - ・使い捨てプラスチックの使用を減らす
 - ・クールビズ、ウォームビズにする
 - ・地産地消を取り入れる
 - ・移動を自動車から徒歩や公共交通機関に変更する
- もしかしたら、皆さんのなかにはすでに以前から取り組んでいる項目があるかもしれません。私たちの生活には電気、水道、ガス、石油など様々なエネルギーが必要です。これらのエネルギーは私たちが生活で使うときだけでなく、資源からエネルギーを製造する、さらには運搬するときにも二酸化炭素が排出されています。使用するエネルギーの量や頻度を減らすことはカーボンニュートラルにつながります。

カーボンニュートラルという言葉は様々な分野で使うことができ、なにかを始める、継続する、廃止するときの理由付けにとっても適しています。用途が多様であり、具体的なシルエットは見えない、面白いキーワードです。ぜひ、なぞなぞとして使ってください。答えがないのが正解かもしれません。

情報掲示板

徳島県消費者情報センター

●再び届いています！ハガキの架空請求

「訴訟着手発付通知」と題したハガキが『債権執行書記官室』というところから届いた。未納料金があり裁判を執り行う、確認のため電話するようにとあるが、心当たりがない」という相談が寄せられました。

これは、架空請求のハガキです。数年前にも同様の相談が

急増し、テレビや新聞等で注意喚起されたことにより、しばらく減っていたのですが、再び県内にも届いていることが確認されました。「訴訟」や「財産の差押え」などという言葉で消費者の不安をあおり、電話をかけさせ、最終的には金銭を騙し取る詐欺の手口です。また、「法務省」、「消費者センター」、「国民生活センター」などの公的機関を名乗って巧みに消費者を騙そうとする場合もありますので、注意が必要です。

このようなハガキが届いても慌てて相手に連絡しないようにしてください。不安な場合は、お近くの消費生活センターにご相談ください。

(メールマガジン 6月28日配信)

2022年度全国消費者協会連合会総会

6月23日、2022年度全国消費者協会連合会総会がWeb会議で開催され、2021年度事業報告、2021年度決算及び監査報告、2022年度事業計画、2022年度収支予算が承認されました。

また、次年度の総会は富山県が当番協会となり、対面を基本に計画を進めることとなりました。

受賞おめでとうございます。

消費者支援功労者表彰

ベスト消費者サポーター章

新見千津子 様 (前上板町消費者協会会長)

徳島県表彰

長久 生實 様 (前阿南市消費者協会会長)

全国消費者協会連合会表彰

河野富士子 様 (佐那河内村消費者協会会長)

とくしま環境県民会議表彰

吉岡 由子 様 (徳島市消費者協会)

令和3年度「とくしま環境賞」

勝浦町消費者協会 様

令和4年度徳島県消費者協会通常総会

令和4年5月24日(火)、シビックセンターさくらホールにおいて開催され、令和3年度事業報告及び決算報告、令和4年度事業計画及び、活動予算の両議案が承認されました。

また、グリーン購入協力賞が、徳島市消費者協会と小松島市消費者協会に授与されました。

令和4年度徳島県消費者大学校

令和4年度徳島県消費者大学校は、6月4日から7月23日までの8日間、徳島県職員会館、ザ・グランドパレスを会場に開講しました。対面講座に加え、Webコース(対面講座を録画配信)も設け、両コース合わせて37名が入校し、最近の消費者問題など幅広い分野を学びました。

